



発行:青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課 (Email:bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp)

〒030-0801 青森市新町1丁目3-7 TEL:017-718-1384 FAX:017-718-1372

第8波のコロナ感染拡大が収まり切れぬまま、令和5年のスタートとなりました。せっかく様々な活動を取り戻しつつあった昨年のスタートでしたが、まだまだ感染対策を十分に施しての活動となりそうです。うさぎのようなジャンプで、皆様にとって飛躍の年となるようお祈りしております。

## 〈推進員さんに聞く! ~つながることの大切さ~〉 第2弾

### 浜館小学校の体制づくり

昨年、浜館小学校地域学校協働活動推進員の「千葉有子」さんと「山本聡美」さんにインタビューを行いました。前号同様「つながることの大切さ」についてお話を伺いました。二人を引き合わせたものは、PTA活動の場であり、読み聞かせの依頼でした。やはり共通の活動の場が二人を結び付けたのだと思われます。



(千葉さん4年目、山本さん1年目)

#### ★推進員をやった良かったこと

- ・ボランティア活動を通して学校の忙しさや大変さが見えました。学校がもっと地域に開かれてほしい、さらにそのことによって地域がもっとよくなってほしいと思いました。そんな活動に自分が関わっている、貢献している、と感じられることがとても快く感じました。
- ・保護者の方と関わると自分の世界が広がり、常にスタートラインに立った感じになるのが良かったです。
- ・活動自体が、自分にとっての仲間の広がりや子どもの成長となって見えるところがうれしかったです。

#### ★推進員をやった大変だったこと

- ・学校内はいいが、地域と関わることは大変でした。様々な年齢、様々な考えの方がおり、自分がうまくつながられるか心配でした。地域に出て活動する前に、学校からの紹介は不可欠だと思います。
- ・各地区の伝統芸能や祭りになると、わからないことが多く、関わっていきにくい感じがします。年代が若返ると一層そんな風を感じるかもしれません。その点は不安です。

#### ★つながる、あるいはつなげるための秘訣は?

- ・参加してくれたボランティアさんに、感謝をしっかりと伝えること、つながりを大切にすること。
- ・次もまた参加しようという気持ちにさせること。そして、それが来てくれた人に伝わるようにすること。
- ・自分をきちんと知ってもらうこと、次もこの人に頼もうとかやってもらおうと思われるようにすること。
- ・いつもウェルカムの心、引き受ける心でいること。「頼まれ事は試され事」しかも「笑顔で!」の精神で。
- ・新しい人を引き入れるときは様子を見てゆっくりと。地域の方々には急激な変化を得意としない方もおり、なじみの人といることが自分たちの楽しみでもある場合がある、ということを心しておく。

お忙しい中インタビューをお引き受けいただき、大変感謝しております。貴重なお話や体験談から、着実な取組の様子とつながりを大切にされた考え方に、見習うべきところがたくさんありました。今後もさらなるご活躍を期待しております。ありがとうございました。

## 地域学校協働活動、コミュニティ・スクール HP がリニューアルしました!

文化学習活動推進課が進めている、地域学校協働活動並びにコミュニティ・スクールの内容が掲載された HP がリニューアルしました。一層わかりやすくなりましたので、ぜひ一度ご覧ください。「青森市教育委員会 地域学校協働活動」、「青森市教育委員会 コミュニティ・スクール」で検索してみてください。

## 12/13 地域学校協働活動に係る事務連絡会議報告



今回の事務連絡会議はちょっと異色の講師をお招きし、推進員の皆さんに人とつながる力やコミュニケーションスキルをアップしていただくために企画しました。

【講師】 葛西 孝之 氏 ABA 青森朝日放送 営業局営業部長、元アナウンサー  
県高 P 連会長(青森高校 PTA 会長)、元筒井中・浜田小学校 PTA 会長

### 講演・演習テーマ：あなたからはじめませんか ～一人一役全員主役～

ご自身の持つ豊富な PTA 活動の経験から、様々な取組やエピソードをご紹介します。

#### ★まずは絵本の紹介

「ぼくを探しに」シルヴァスタイン作・倉橋由美子訳 人生において、様々な挫折の中「人は完全でなくていい」と気づかされたお勧めの一冊だそうです。

#### ★浜田小 PTA 時代①

活動資金を得るために様々な取り組みましたが、その中で古紙回収の取組を例に挙げ、皆さんならどう進めるか、演習スタイルで協議しました。

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1 情報収集—先進校モデルの研究。     | 5 業者選定—永続的に続く回収方法。           |
| 2 勉強会—PTA 幹部の意識啓発と共有。 | 6 数的報告—経過報告と謝意表明。            |
| 3 近隣校調整—近隣校と別の日を設定。   | 7 成果実感—納得できる物品購入。            |
| 4 町内会説明—町会長宅訪問、同意。    | → <b>どんな取組でも大切な 1 項目ですね。</b> |



#### ★浜田小 PTA 時代②

運動会ボランティアが足りない、さらに早朝からの場所取りで駐車場の混乱。

→そこで、早朝からのボランティア協力者に駐車券優先配付。見事に男性協力者が多数参加。撤収までも協力いただいて、ボランティア不足・場所取り・駐車場混乱を一気に解消しました。

#### ★受けた質問の回答から

どうしてもできない、やれないという否定的な意見の人に対してどう接する？

→ まずは一度受け入れて、誠心誠意言葉を尽くして話し合う。それでもだめなら、本人にも問題解決のためにはどうすればいいか考えさせるように持っていく。自分のこととして考えてもらうのがよい。学生時代やアナウンサー時代のエピソード、各 PTA での悪戦苦闘の取組を、楽しくそしてポジティブに語っていただき、本当にありがとうございました。みんなでやった発声練習も楽しかったです。(抜粋)

### < コミュニティ・スクール推進体制構築事業から >

R4. 10. 20

本課で地域学校協働活動と一体的に推進されているコミュニティ・スクール(CS)推進体制構築事業の報告です。昨年、柳川庁舎にて、文科省 CS マスター「高野 陸」氏を招いて講話並びに演習が行われました。

#### ◆地域学校協働活動と CS の一体的推進のために

- 学校運営協議会での協議と教育ビジョンや目標の共有と、地域学校協働活動での実践的な協働によって、社会に開かれた教育課程を実現する。
- 熟議や PDCA サイクルの活用による学校運営協議会の効果的な運用をする。
- 成功体験の共有・情報の共有・課題や目標ビジョンの共有・アクションの共有など、4つの「共有」が重要である。

#### ◆青森市の子供たちの未来のために

- 学校は保護者や地域と、情報や課題の共有をしっかりと行う。
- 地域の幼、小、中、高の連携を大事にする。
- 大人も子どももこれからの社会を考える機会を持ち、地域貢献できる人材を育てる。(抜粋)



**お詫びと訂正** 前号「てとて」42号にて、出崎真里推進員の退任のご報告をさせていただきましたが、その際お名前を「真理」と表記しておりましたが、正しくは「真里」となります。ここにお詫びを申し上げますとともに、訂正させていただきます。